

飲酒・酒気帯び運転防止のための安全管理チェックリスト

実施日： 年 月 日 ()

項 目	チェック欄 (備 考)
1 運転者の飲酒傾向の把握	
・運転者の飲酒程度について、採用時に把握している。	<input type="checkbox"/> ()
・運転者に対して、定期的に対面で飲酒程度、趣向を聴取し、飲酒傾向を継続的に把握している。	<input type="checkbox"/> ()
2 健康診断結果の活用	
・定期健康診断の結果により、アルコールの過剰な摂取による数値の変動が比較的確認されやすい肝機能にかかる数値の確認を実施している。	<input type="checkbox"/> ()
・定期健康診断の結果に基づき、運転者との対話の機会を設けている。	<input type="checkbox"/> ()
3 運転者の家族への協力体制	
・飲酒運転による影響が運転に支障をきたすことがないように、運転者の家族に対して飲酒運転防止対策（節酒等）の協力を要請している。	<input type="checkbox"/> ()
4 確実な点呼の実施	
・点呼時において、運転者から前日を含めて飲酒の有無、飲酒量、飲酒時間について聴取している。※アルコール検知器を活用することが効果的	<input type="checkbox"/> ()
5 飲酒禁止への対応	
・就業規則やサービス規程に、業務途中の飲酒禁止、車内への酒類持ち込み禁止等の規定を設定している。	<input type="checkbox"/> ()
・飲酒運転防止をテーマにした運転者への指導教育を適切に実施している。	<input type="checkbox"/> ()
6 点呼時における飲酒検知時の対応	
・点呼時において、飲酒が判明した場合の対応について、社内で取扱いを定めている。	<input type="checkbox"/> ()
・点呼時において、アルコール検知器による反応が頻発するなど飲酒傾向の強い運転者に対してアルコール依存症の可能性を含めて対応を行っている。	<input type="checkbox"/> ()
7 PDCAサイクルの活用	
・飲酒に関する指導教育について、飲酒運転事例を踏まえ、指導方法の改善を常に行っている。	<input type="checkbox"/> ()



飲酒運転防止に向けた対策を強化し、
お酒に溺れないようにしましょう。

